

2018年度活動報告

2018. 5. 19 ●タダゼミ（NPO 法人キッズドア 以下同）説明会参加

2018年度の活動開始にあたり、保護者と生徒を対象にした「タダゼミ説明会」に参加しました。河合塾として今年も支援させていただくことのご挨拶し、続いて講演を行いました。

- ・高校受験に向けての心構えについて講演

⇒生徒・保護者の、前向きに取り組もうという姿勢を目の当たりにし、こちらも精一杯支援しようという心を新たにしました。

●学生ボランティアへの研修実施

初めて学習指導を行う学生ボランティアに対し、中学生の集団授業や個別指導の進め方のポイントを研修しました。

また、教科別指導の仕方について具体的な留意点を伝えました。

⇒学生ボランティアの疑問点にお答えし、不安の解消につなげることができました。

●キッズドアとの打ち合わせ

- ・河合塾の活動メンバーとNPOスタッフが意見交換・活動方針を確認

⇒被災家庭・母子家庭等、経済的に困窮して生活保護を受給している家庭の中学生は、今でも少なくないことを実感しました。そして、貧困の連鎖を防ぐための教育復興こそが、真の復興につながるとの考えを共有しました。

めざす県立高校に確実に合格できるような指導をし、方向性の認識が一致し、河合塾の本業の強みを活かした活動がさらに求められていると実感しました。

2018. 6. 3 ●学生ボランティア向け動画作成

- ・学生ボランティアに対し、国語・社会の授業の動画を作成

⇒河合塾の講師の授業を動画で視聴することで、授業のポイントの研修に役立てることができました。いつでも見て参考にできる利点を感じました。

●ガチゼミ支援

同日実施の高校生の学習支援「ガチゼミ」において現代文の授業を実施し、分かりやすい授業に満足していました。

2018. 7. 7

●学生ボランティア研修実施

・学生ボランティアに対し、模擬授業形式でアドバイスを実施

⇒新任ボランティアによる模擬授業と河合塾講師から具体的なアドバイスをを行い、発声・発問・説明法など、夏から始まる学習指導に向けて参考になったと好評でした。

2018. 9. 9

●タダゼミ支援

・中学生に対し、英語・数学・国語の授業を実施

⇒各教科の重要ポイントをわかりやすく授業し、つまずきの解消に役立ちました。

大学生の授業を河合塾講師が見学して、その指導法についてアドバイスし、限られた時間で効果の上がる授業のしかたのポイントが伝わりました。

2018. 10. 14 ●タダゼミ支援

・中学生に対し、数学・社会の授業を実施

⇒数学は「証明問題の解き方」を扱い、社会は「近代史の解説」を行いました。

いよいよ、生徒の意識が得点力を上げることに向かっていました。

2018. 11. 18 ●タダゼミ支援

・中学生に対し、英語と社会の授業を実施

⇒中学生が苦手になりやすい単元として、英語は「関係代名詞」「リスニング対策」を行い、社会は定期テスト対策として公民のポイント授業を行い、今まであやふやであった分野の理解が深まりました。

2018. 12. 15 ●情報収集

・キッズドア主催のシンポジウムに参加

⇒今後の方向性についての情報収集と情報交換ができました。

2018. 12. 16 ●タダゼミ支援

- ・中学生に対し、英語・社会の授業を実施

⇒いよいよ追い込みの時期となり、生徒たちは真剣に取り組んでいました。

学生の授業の質も向上してきました。さらに分かりやすい授業にするためのアドバイスを行いました。

2018. 12. 23 ●タダゼミ支援

- ・中学生に対し、数学・社会の授業を実施

⇒「模試の解説授業」を実施し、得点できるはずの問題での失点や、自分の弱点がどこにあるのかを見極めることにつながりました。

●キッズドアとの打ち合わせ

- ・今年度の振り返り、来年度の方針について打ち合わせと意見交換を実施

⇒今年度の問題点を振り返り、その反省を来年度に活かしていくことで方針を決めることができました。

2019. 1. 27 ●タダゼミ支援

- ・中学生に対し、英語の授業を実施

⇒本番で得点するためのポイントに、生徒は聞き入っていました。

2019. 3. 3 ●タダゼミ支援

- ・入試直前対策として、英語・数学の授業を実施

⇒限られた試験時間内でより高い得点を取るにはどう解き進めるべきかを説明しました。

試験まであと数日、1点でも多く得点するための方法に、生徒は真剣に聞き入っていました。

- ・「入試に向けての心構え」を講演

⇒本番で実力を出し切るための心構えを伝え、エールを贈りました。